

## 令和 5 年度第 3 回立川市生涯学習推進審議会 会議録

開催日時 令和 5 年 8 月 30 日（水曜日） 午後 6 時 30 分～午後 8 時 15 分

開催場所 立川市女性総合センターアイム第 2 学習室

出席者 [委 員] 倉持 伸江 会長 檜崎 茂彌 副会長 大橋 正則 委員  
柴 香里 委員 梅田 茂之 委員 竹内 英子 委員  
難波 敦子 委員 宮本 直樹 委員 来住野 清子 委員  
岩元 喜代子 委員 杉浦 早苗 委員  
[事務局] 立川市生涯学習推進センター長 庄司 康洋  
同 管理係長 加藤 暁子  
同 管理係員 大須賀 雄大（記）

傍聴 0 名

## 次第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 報告事項
  - (1) たちかわ市民交流大学企画運営委員会の会議録について
  - (2) 令和 3～6 年度たちかわ市民交流大学事業方針について
4. 協議事項
  - (1) 令和 5 年度第 2 回立川市生涯学習推進審議会 会議録について
  - (2) 立川市第 6 次生涯学習推進計画 令和 4 年度取状況の進捗評価表について
  - (3) 立川市第 7 次生涯学習推進計画 市民アンケートについて
5. その他
  - (1) 教育委員（公募枠）の選考委員の就任について
  - (2) 令和 5 年度第 2 回立川市議会定例会報告

## 配付資料

1. 令和 5 年度第 1 回たちかわ市民交流大学企画運営委員会議事概要
2. 令和 3～6 年度たちかわ市民交流大学事業方針について
3. 令和 5 年度第 2 回立川市生涯学習推進審議会 会議録（案）
4. 立川市第 6 次生涯学習推進計画 令和 4 年度取組状況の進捗評価表（令和 5 年度実施）
5. 立川市第 7 次生涯学習推進計画 市民アンケート（案）
6. 令和 5 年度第 2 回立川市議会定例会報告

## 会議内容

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 報告事項
  - (1) たちかわ市民交流大学企画運営委員会の会議録について

(会長) A委員よりご報告をお願いいたします。

(A委員) 貴重な時間ですので簡単にご報告いたします。資料1が6月27日に行われた市民交流大学の企画運営委員会の議事概要でございます。今回は8期目の最終回という形になります。この委員構成でやる最後という形で、また9月から新メンバーで9期がスタートするという、そういう位置づけの会でございます。2ページの下のところ、事務局からの報告というところがありまして、①番で地域学習館運営協議会の各館の状況をご報告いただき、3ページ②番で生涯学習推進審議会の様子を報告いたしました。その下、5の議事というところがありますけれどもここで令和4年度立川市民交流大学事業方針まとめ案についてという、これがメインの議題ですが、なぜ令和4年度の事業方針をまとめているのってというふうに、1行だけだと読めてしまうのですが、今までもご報告申し上げている通りで、市民交流大学の事業方針は令和3年度から6年度の4ヶ年計画で今動いておりまして、その令和4年度分の総括をしたという話でございます。その4年度のまとめをいたしましたという話がずっと、いろいろありましたがお読み取りいただければと思います。簡単ですが、以上でございます。

(会長) ありがとうございます。何かご質問ないし補足などございますでしょうか。だいぶ具体的な議論が展開されているところもあり、本会議にも関係あるような、「きらり・たちかわ」のことが書いてあったり、生涯学習情報発信など、ちょっと関連するようなことが書いてありますので、ぜひご覧いただいて、気になるところがあればA委員を通してでも事務局を通してでも、ご意見いただければと思います。ありがとうございます。

## (2) 令和3～6年度たちかわ市民交流大学事業方針について

(会長) 次に報告事項の2番目で、令和3年度から6年度の立川市民交流大学事業方針についてということで、こちらA委員ですね。よろしく申し上げます。

(A委員) これが先ほど申し上げた4年度のまとめという形になって完結したものです。4年度の評価が決定ということで、資料2になります。ここでは令和4年度分でありますので、3ページを見ていただきますと取組事項1があって具体策、取組、成果と課題があります。取組事項1と具体策というのは4か年計画を立てた時に作ったものです。その下の取組状況というのが、令和4年度にやったことを書いてあります。進捗状況です。そしてその下の成果と課題というのは、その取り組み状況、進捗状況に対して、これは良かったね、これはもうちょっとだね、ここは課題として見えてきたねというようなことが、書いてあるという位置づけになります。これをぜひ今日までに間に合わせたかったのです。というのは、おそらくこの後、評価の話が入ってくると思うのですが、ぜひ評価をする際に、この市民交流大学の進捗状況をあわせて、これ4年度の進捗状況ですので、4年度の評価に繋げていただきたいと思います。資料2の2ページをご覧くださいとですね、生涯学習推進計画の項目立てと一致するように作ってあります。生涯学習推進計画では、施策の方向が7つあるのですが、その7つのうち市民交流大学に関係するところが5つです。だからこの2ページの表では5項目。そして

具体化の取り組みは、計画では 16 あるんですがそのうち市民交流大学に関連することが 10 個なので、ここも 10 個ですね。その右側を見ていただくと取り組み事項ですが、取り組み事項は計画では 53 あるのですが、市民交流大学に関連することが 22 個あるので、ここは項番をふっています 1 から 22 となります。また 3 ページ見ていただきますと、3 ページの 2 行目のところに、市民ニーズに応える事業の推進というのが I-1-①であります。これはまさに生涯学習推進計画の I-1-①に連動する。こういう見方があります。この後どういう決め方になるのかわかりませんが、今年も取り組み事項ごとに評価シートを評価していくと思うので、そのときにこの項目を見ればいいのだからというので、ぜひ活用していただきたいというお願いでございます。

(会長) はい、ありがとうございます。まさにこれについて議論したのがさっきの議事録の後半のところっていうことですよ。そちらも合わせて見ていただくと、もしかすると立川市の生涯学習推進計画そのものの進捗評価の参考になる部分が多いにあるのではないかなっていうふうに思いました。連動性があるようにちゃんと目印をつけてくださっているっていうことですね。なかなか今までここが互いに緩やかに連携していたのですが、こうやって具体的な資料、情報を間に合うようにいただけるってことはなかったんで、大変ありがたいなっていうふうに思います。中身はもちろんですけど見方など含めて何かご質問、補足等ございますでしょうか。

(副会長) この二つを合わせてみると、一つはさっきの資料 1 ですか、激論がされているようですけども、黒丸と白丸っていうのでいろんなことが書いてあったのですが、これは伏字なのですか。黒と白っていうのは賛成と反対とかそういうことなのでしょう。

(事務局・センター長) 黒丸と白丸でございますが 3 ページを御覧いただきたいのですが、意見が相反しているところですね。相違う意見というか、そういった意見があった中で調整ということですので、そういったご理解をしていただければと思います。

(会長) 今ある資料 2 の部分は、その調整した結果後、ということですね。

(事務局・センター長) 結果後です。ですので黒丸白丸はここには出てきません。

(会長) 議論のときはそういう意見を両方出したうえで議論をして、まとめたものが今回私たちの手元に届いたものですね。

(事務局・センター長) これを作る段階でまとめたときに、別々の委員から全く違うようなご意見があったもので、こういう形の議事録が残っております。最終的にはそれは除いた形で一つに集約されています。

(A 委員) 各委員宿題という形で意見を集めてきたのですが、集約する段階で事務局としては、こっちの意見だ、と勝手にやるわけにいかないの。

(事務局) そうですね

(A 委員) 両論、この日の資料では出していた、ということなのです。

(副会長) 例えば、黒を出したのは私だと思うっていうのは、黒ということは否定的な意見って意味なのですか。

(A委員) 特にそういう意味はないです。

(副会長) 一番下のところに「黒を出したのは」って書いてあるけど、これはなぜ黒だけがあるのかなって、よくわからないところがあるのですが。

(事務局・センター長) 特に意図したものではございません。

(副会長) つまりこれは2の方はまとめてあるということですね。よくまとまったな、と思います。

(会長) はい、ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

(B委員) これ評価にかかわらなくてここで質問するのもおかしいかもしれませんが、資料1の7ページでJ委員がおっしゃっている「きりり・たちかわ」を自治会の回覧で回してはどうかみたいな議論があるのですが、今ちょっとホームページ見たらWebサイトにもPDFを貼ってあるのですよね。実際PDFはダウンロードされたことってわからないのですか。カウントできないのでしょうか。

(事務局・センター長) アクセス件数はあるのですが…聞けばわかるかもしれませんが、どれも今のところ数字は持ってないですね。

(B委員) そうですよね。6,000部という発行部数のことをずっと議論をされていて、そこばかり話しているの、Webで見ている人はノーカウントみたいな、不思議な議論だなと。

(副会長) 確かに、そうですね。そこをプラスすると、もっと見ているかもしれませんね。

(B委員) そうですね。そこを踏まえてだんだん今後減らしていく、みたいな話なのかなと思ったらちょっと話が出てこなかったの、今聞いた次第です。

(会長) ありがとうございます。確かに生涯学習推進計画の進捗評価にも関わるデータになるかもしれません。多分従来は紙媒体のものがベースで考えられていて、オンライン上でダウンロードできるものはプラスアルファというか情報交換というか、そういうような位置づけだったので、出している側としてはやっぱり紙を出しているっていう意識があったからそっちの数をカウントしているところがあったかもしれないのですが、確かに、ページビューだけだとページが入ってからダウンロードしたかどうかわからないのですが、それでも少しカウントしてみてもどれぐらいの人がアクセスしているかは、多少参考になる情報かもしれない。追っていけば、あの増えているとか減っているとかでは多少見えるのかもしれないですね。

(B委員) それなりの数になる気はするのですが。

(会長) いいご意見でした。ありがとうございます。他はいかがですか。

ではこの資料2は、貴重な資料としてお持ち表示いただければと思います。

#### 4. 協議事項

(1) 教育委員(公募枠)の選考委員の就任について

(会長) 事務局より説明をお願いいたします。

(事務局・管理係員) 資料の3番になります。事前に確認をお願いしておりましたが修正意見はありませんでした。本日の会議中にご意見がなければご承認いただいたということで、市のホームページに公開させていただければと思いますので、よろし

くお願いいたします。

(会長) はい、ありがとうございます。事前には特にご意見はなかったということですが、今この場でご確認いただいて、何か修正等したいところがあれば、会議の終わりまでにお声がけいただければと思います。現時点で何かございますでしょうか。特にないようですので、一旦仮承認ということで進めさせていただきます。

## (2) 立川市第6次生涯学習推進計画 令和4年度取状況の進捗評価表について

(会長) 事務局よりまずはご説明をお願いします。

(事務局・管理係員) はい。資料の4番になります。クリップを外していただくと3つ資料がございます。一つ目が、事務局が令和4年度に対して作成した評価表でございます。もう一つが進捗評価を進めるための横版のスケジュール表、もう一つが、このあとご説明いたしますが意見だしをしていただくためのフォーマットとなっております。まず初めに進捗評価表をめくっていただくと、例年通り一番のところ、評価対象となる具体化の取組と取組状況ということで、取組、目的、関係する主な事業ときて、事業の成果・課題、今後の方向性ということで、令和4年度のものに対して事務局が記載したものが載っております。その次、下の2番、前年度のコメントに対する取組のところですが、ここに関して今年度から追加をした項目になっておりまして、ここに関して事務局の方で昨年度、皆様からいただいた総評のところを抜粋して、その抜粋した内容というのが課題などご指摘いただいたところに対して、令和4年度5年度のところ、どのような取り組みをしたか、もしくはこういう検討した、もしくはこういう事情があつてなかなか進められていないといったような内容が書かれています。こちらの内容をもとに、また、A委員がおっしゃった資料の2の方をご参考に、こちらのコメントの総評のところを埋めていただくような流れになります。ですので今日のところは一旦持ち帰っていただいて、意見出しの参考にさせていただければと思います。

続いて、横版のスケジュール表です。昨年度から部会方式という形でやり方を変えているので、まだ1年しかやってないということで改めて流れを説明させていただきます。

9月の1日頃に皆さんにメールで、ご依頼を出させていただく予定になっていますが、評価項目16項目に対して皆さんに意見出しをしていただく予定になっています。先ほど説明しましたが、意見出しの方はこちらホチキス止めしている16項目が載っているこちらのフォーマットに記載をしていただいてメールでご提出いただければと思っております。昨年度は、評価委員になられた方は、16項目全てご意見を出して、それ以外の委員の皆様は、ご意見のご提出自体任意という形で進めさせていただいたのですけれども、今年度に関しましては、評価委員の方は全項目お願いしまして、その他の方は最低1項目はご意見を出していただければなと思っております。ここでご意見を頂戴しない場合、修正でもないとご意見を発言したり、意思をのせるところがないということで、最低1項目はご提出いただきたいということで、ご協力いただければと思っております。このご意見出しを9月15日までをお願いしまして、その後、9月末ごろまでに事務局の方で、

皆さんからいただいたご意見を、コメント案ということで作成させていただきます。それを、事前に評価委員の皆様にもメールでお渡しして、それをご確認いただいた上で第1回目の部会にかけて、原案の調整をしていただいて、10月18日の第4回のときに原案としてご提示をする予定であります。その原案をご提示して、それに対して、また評価委員以外の皆様も含めてご意見出しという形で時間を設けて、その後、第2回の部会を11月に開催してそこである程度、固まったものを作って、それを最後、皆様にもメールでご確認いただいて、第5回11月29日のときに完成版のご提示というようなスケジュールを考えています。本日、評価委員を決めていただくのがメインになるのですがすけれども、人数は前年通り3名。お集まりいただくのが昨年度は3回だったのですけれども第1回はやり方の調整だったので、昨年度と同様でいいということであれば2回ですみそうなので、2回分、10月と11月に考えています。こちらの2回に関しては評価委員の方々には報酬を支払う予定であります。実際の評価委員を決めるにあたって昨年度は檜崎副会長、A委員、C委員をお願いして2年連続でやっていただいてももちろん構わないのですがすけれども、ただ、ご負担というのが大きいのでそのあたりも少し考慮しながら決めていただければと思います。評価委員の負担が大きいのですがすけれども、なかなかここで評価委員が決まらなないと、また前回のやり方が良かったのかってということで振り出しに戻ってしまうので、できるだけ決定にご協力をいただければと思っております。よろしくお願ひいたします。

今日、委員が3名決まりましたら部会の調整候補日、どの日程にするかということを実際に決めたいと思いますので、終わった後少しお時間ちょうだいできればと思っております。説明は以上です。

(会長) ご説明ありがとうございました。1点確認ですけど、資料4の表紙。

(事務局) 申し訳ありません。1年間古い表記になっています。間違いです。失礼いたしました。

(会長) 中身は間違いありません。大丈夫ですね。令和4年度、昨年度の取組の状況を今年、令和5年度に評価する。表紙だけなので大きな影響はありません。中身のところですけど、項目の2を新たに作っていただいたってことですよね。すごく良い改善だと思うのですがすけれども、前の年私達が出したコメントが、3年度総評というところに、全部じゃないけどポイントを絞って書かれている。それに対して、今まではこの2の上のところの全体的な行政側の取組状況と、成果と課題の方向性が書いてあったのだけど、特に私達が出したコメントに対して、そのピンポイントのところに対して何ができたかできなかっていうことを書いてくださっている。その評価のPDCAを少し回すことを意識してくださっているのかなと思いますけれども。そのような形で書いてくださっていて、それも踏まえた上で令和4年度の評価を私達はまた考えるという流れに、評価表が少し改善されたということのご説明がありました。

計画に沿っているので項目自体は変わらないので先ほどA委員よりありましたけどI-1-①とかI-1-②というのは計画に沿って項目がたてられている、という形になっております。さっきのスケジュールとその評価の仕方ないのですがすけれども、D

委員は今年度初めてなのでわからなかったらぜひ質問していただければと思うのですけれども、それまでは総当たり方式で、全員でコメントを考えて、正副会長で少し調整をしながら、全員で議論をして評価をまとめていくっていう形でやっていたのですが、昨年度から部会方式というふうにして、評価を主に担当してくださる3人、この会議から選出をして、その方々中心に全ての評価表を見ていただいてコメントを出して取りまとめるという作業に取り組んでいただきました。けれどもその3人以外の委員も任意でコメントを出すという形で関わるということをしてきました。今の事務局からのご提案は、任意ですけれども、一人一つ以上は必ず出した方が、評価に対して積極的に意見を言うということになるので、項目が非常に多いので、16項目全部のコメントを出してくださいとは言いませんが、一つ以上は必ず全員出してくださいという、そうした方がいい評価ができるのではないですか、というご提案でした。これについてはどうですかね。部会方式でやるということと、でも全部の委員が何らの形では意見を出すということについては、いかがでしょう。去年初めて部会方式にして、やった後にまた部会の委員さんにご意見を伺ったりもしましたけど、1年やってみたので、もうしばらくこのやり方でやっても良いじゃないかっていうのが前回の段階の反省でしたよね。何となくそれで会議全体も、そうだねっていう形になった。今ちょっと改善案を少し出していただいたので、コメントをまずは宿題として皆で一旦出して、それを評価委員さん中心でまとめてもらって、その原案をまたこの全体会議でもんで、という形の進め方です。これはこのやり方で、去年の形を発展する形でよろしいですか。でも別に3人じゃなくても4人でも5人でも良いのですが、部会なのでこの全体のバランスから見て3人ぐらいが集まって意見交換しやすいだろうということで3人になっていますので、今年度も一応まずは3人を出してみるっていうところから、やったら良いじゃないかということですよ。

それでですね、もちろん立候補ウェルカムですけど去年の決め方を思い出してみると、この委員構成がいろんなバックグラウンドで委員がいらっしやっているので、確か継続の委員と新規の委員さんと両方出した方がいいだろうということで、新規の委員のC委員に入っていたいただいた経緯があったのと、学習館ベースで活動されている委員さんと市民交流大学の委員さんとか学識の方とかそういうバランスもちょっと見た方がいいだろうということでA委員、あと部会方式の初回だったので監督的な意味でもちょっと副会長に入っていたと。確かそんな感じでさらにバランスをちょっと意識して、結果的にちょっと男女のバランスもうまいこと取れて良かったねっていうことになりました。で、今年はどうしましょうということですよ。今年もできればそういうバランスもちょっと考えたいなということと、事務局とも話したのですが、ずっと同じ委員さんだと活動はスムーズになると思うのだけど、その委員さんたちがずっと続けることになっちゃうとか、その経験とか知恵が繋がっていかないの、例えば3人中どなたかは継続していただいて、どなたかはちょっと入れ替えて新しい委員さんとかになると、検証していくにもいいのではないかという話は、そんな都合よくいくかどうかかわからないですが、そんな話はしました。ということも踏まえて自薦他薦して

いただければと思います。が、いかがでしょうか。

部会の委員さんは何をしなくてはいけないかってことをもう一回確認すると、評価部会の委員さんは、まず16項目任意じゃなくて必ずコメントを考えるというのがまず第1の仕事です。でもこれは他の委員さんも16全部考えても構わないので、評価の委員さんは特に、この評価表を全部読んで、全部に対するコメント、まず自分のコメントを考える、というのがまず一つ目の仕事。二つ目の仕事は、事務局が皆さんから出された評価をまとめて1回たたき台を作ってくださいるので、それを読んで確認して、部会を開いて、ちょっと調整をして原案を作る、というのが次の仕事ですよね。それで今度本部会、この本会議の第4回を開くので、そこで皆であでもないこうでもない意見交換をして、その意見をまた踏まえて修正をしていただく、もう1回部会を開いていただくというのが三つめ。あとはちょっと事務局が整えたりしてくださるのでその微調整の確認をして、提出。という流れでしたでしょうか。

(副会長) はい。

(会長) だそうですので、そんな感じが部会の委員さんのお仕事です。部会の委員さんじゃない委員さんももちろん本会議では意見をむしろ積極的に言っていただくという事になりますので、評価をしないっていうわけではありません。

スケジュール的なこともあると思うので、いかがでしょうか。

副会長は中学生の主張大会の委員も引き受けてくださったということ。

(副会長) やむを得ず。

(会長) ありがとうございます。ちょっとかなり作文をたくさん読まなくちゃいけないというお仕事が副会長に今年はかかっているということだそうですので、本当は副会長に継続で関わっていただくといろんな意味で安心ですけど、ちょっと引き続きお願いするのはご負担を偏らせてしまうかなと。思っています、ぜひやっていただけるならもちろん構いません。

(副会長) この間言っていたように、女性が6で男性が4ですから、そのバランスを考えて女性多めにするといいかなと。

(会長) なるほど。3人だったら女性2で男性1とかね。だんだんいろいろ条件が示されてきてね、顔を見合わせる感じになってきていますけども。あと去年務められたA委員とかC委員から何かコメントがあれば。やるとかやらないとかでなくて委員を決めるに当たって何かアドバイスがあればちょっと言っていただければと思いますけれども。

(A委員) 昨年からの継続性みたいなことを考えると、事務局のこともあるので大須賀さんがいつまでもいてくれるわけじゃない。事務局が今回は繋いでくれればいいのかもしいかなと思いました。もし事務局が変わるときには確かに委員が一人、引き継ぎでいるのもあるかなと。

(会長) なるほど、事務局との関係性も考えると、むしろ今事務局は大須賀さんが継続してくださっているから委員の方は新しいメンバーに変わっても、むしろいろんな経験ができるのではないかということですね。C委員、いかがですか。

(C委員) 資料を大須賀さんが送ってくださったこともあって、どんなものかというのは何となくイメージできて、参加することができました。お二人のベテランの委員さんに支えられながらでしたけれど。ただあの、全部の項目に自分で回答するという作業がとても私自身のためにはなったと思いますし、ある意味これをしたから少し私もこの生涯学習推進委員として胸を張るところまではいきませんが、何かできたかなっていう気がしております。本当にお世話になってという言葉かどうかわかりませんが、勉強になりましたし、自分の文言が取り上げられていったりすると、ちょっと嬉しかったりして、とても皆さんのご意見いただきながら、よかったですと思います。ぜひ誰がなられたにしても、昨年度最後に言いましたけれども、より多くのご意見をいただかないと、偏りがなくということを考えても、皆さんのご意見をたくさんくださるのがいいなと思いますので、重ねてお願いしたいと思っております。

(会長) ありがとうございます。前向きなご意見をいただきましたが、どうでしょうか。推薦でも構いません。人数的には去年 3 人ぐらいでちょうど良かったっていう話だったので目処は 3 人ぐらいかなというところでございます。

生涯学習推進計画にのっかって立川市が実施している事業に対する評価ですので、良いところは良い、課題があるところは課題ってことを私達委員の立場として言うのはなかなかない機会です。もちろんそれは個人じゃなくてちゃんと会議としてまとめますので、今 C 委員がおっしゃってくださったみたいに、それ自体が市の現状を知ったりとか、あるいは足りないところには新しい提案をする機会、立川の場合私達の評価のところでも少し提案を入れても受け止めてくださるっていう事もできてきているのでそういういい機会かなと思いますね。いかがでしょう。

(会長) 立候補が出ないなら推薦方式にしますか。どうでしょうか。

(A委員) 先ほど男女比率の話がありました。確かに、ちょっと気がつかないうちに男性が少なくなっていて、まず男性 1 名を決めるという作業はどうでしょうか。

(B委員) さっき副会長が個人審査員を受けられて、大変だからこの時期は、という理由は、まさに私も自治連で個人審査員となりましたので、このスケジュール見ながらちょっとヘビーかなと思っていました。

(E委員) できない理由もいいですか。本当は協力しなきゃいけないなというふうには思っているのですが、ちょっと状況が昨年度と今年で変わってしまいましたし、先ほど作文を読むっていう話が出ましたけど私もこれから 9 月も開けますと、中学生から人権作文が千何点くるのですね。1 人 100 何十点読まなきゃいけない。それはもう期間が決まっている間に読んで、9 月の末には多摩西に上げてそして多摩西でまた東京都にあげるという流れがあるものですから。それよりも、私立川市の人権擁護員をやっています。それで今年は多摩地区の協議会の方の副会長をしています。そうすると、会議がもういろいろあるのですよ。会議を全部取りまとめないといけないので、ちょっともう去年から比べると、本当に頭が痛くなるぐらいの量になるのですね。でも、もうあと 2 年間でタイムリミットというかそれ以上は法務局の方から許可してもらえないので、ちょっと会長職あるいは会長補

佐職というのが入ってしまったので…まとめるためにその 2 回の会議に出ること自体が時期的に難しいですね。就学検討委員会もう年齢だからやめさせてくれて言っているのです。これも年 8 回あって、子どもたちの就学先を検討するやつで、ものすごい気遣う会議ですよ。1 人 1 人の子どもの進学先を、そこで立川市の最終提案をするわけだから、情報を細かく読んで、学校現場を知っている者として、お医者さんを論破するぐらいの形で取り組む部分があったりしまして。ちょっといろんなものが重なっていて、ごめんなさい。

(会長) ありがとうございます。事情はよくわかりました。振り出しに戻りました。男性はちょっと各自ね。ご予定と覚悟をいただいて、女性陣の方どうでしょうか。この会議は珍しく社会教育主事さんが 2 人もいますので、専門家は私も含め 3 人いますよね。お仕事としてやっている人がね。それでそこから 1 人出して、地域で活動されている方からお 1 人出ていただくとか。

(副会長) 3 人出してもらっても別に構わないですよ。

(会長) それも良いのですけれど、バランスは大事ですよ。いろんな視点から評価するのは大事だと思います。どうしましょうチームに分かれて話し合いで覚悟を決めますか。今言った中から、誰か 1 人ずつ出すとかどうですか。決まらないうと今日帰れないですよ。

(F 委員) それでは、去年本当はちょっとやりたかったのですが、仕事が忙しかつたので。11 月の最後の方が仕事とぶつかりそうなのですが、10 月は多分何とかかなるかと思えます。

(事務局・管理係員) 委員さんの合意が取れていればこのスケジュールじゃなくても、準備さえ整えば大丈夫です。

(会長) ありがとうございます。お 1 人は F 委員で決まりました。ありがとうございます。

(G 委員) C 委員、去年、とても一生懸命やったださって。

(会長) 推薦がありましたけども、いかがですか。

(C 委員) 続けない方がいいのかなっていう気はするのですがね。やっぱりちょっと視点を変えるっていうのは、本当に人によって見方って違うなというのはすごく感じましたので、真逆なご意見とかも出てくるので、続けない方がいいかなと思っ  
てはいるのですけれど。

(会長) というご意見がありましたので。

(H 委員) A 委員が参加してくださるなら、私もちょっとやってみたいと思います。いかがですか。

(A 委員) 去年、私がやることになった経緯の中に、学習館から 1 人そして市民交流大学から 1 人という話がありました。市民交流大学企画運営委員会が私と H 委員で、同じ枠です。

(会長) H 委員は市民交流大学委員さんだし、地運協の委員さんでもあるし、市民リーダーの会長さんでもあるから、確かにここで H 委員にやっていただけるとすごく複層的ですね。そんな H 委員がぜひ A 委員にとおっしゃるのでしたらぜひ A 委員にも再考いただきたいなと思うところではありますけれども。いかがですか。コロナがちょっと落ち着いて、いろんな活動・行事が戻ってきていますから余計忙し

くなっていますよね。すごくわかります。わかるのですが、評価も大事です。  
(B委員) 評価項目はちゃんと全部出しますのです。毎年頑張って16回出しています。

(会長) 部会は時間とか日にちは対応してくださいますよね。

(事務局・管理係員) 3名のご希望に合わせて調整していきたいと思っています。

(会長) 夜とかも多分設定できると思います。

(A委員) そう言われると…では、やらせていただきます。

(会長) ありがとうございます。では、H委員もお引き受けいただけるということで、よろしく願いいたします。皆さん本当にご多忙なことは重々承知しておりますが、お引き受けいただきありがとうございます。

では評価委員の皆さんが、評価しやすくするためにも、皆さんは宿題ということで、今日いただきましたこのシートですね。データで送っていただけますのでパソコン作業される方はメールでもいいですし、もちろん紙に書いていただいても構いません。できるだけ多くの項目に入れていただくことで評価委員さんたちの素材になりますので、この16項目ですね、評価シートご覧になっていただいて、もし少し取り組み状況でわからないとか、もうちょっと情報が欲しいということがあれば、事務局に連絡すると事務局から情報提供いただけます。計画の方は計画の方見ていただければ詳しい計画の位置づけや事業とかおわかりになると思いますので、まずは文章整ってなくても箇条書きでも構いませんので何らかコメントを寄せていただければと思います。

では評価部会の委員としてF委員とH委員とA委員ということでありがとうございます。どうぞよろしく願いいたします。

委員の皆さんは9月15日まで、ギリギリにならないようですね。皆さん他の宿題もたくさんあるそうですので、早めに出していただければと思います。ありがとうございました。

### (3) 立川市第7次生涯学習推進計画 市民アンケートについて

(会長) こちら事務局よりご説明をお願いします。

(事務局・管理係員) 資料の5番です。ご意見ご確認をお出しいただきまして、ありがとうございました。事前にお送りしているものと同じものになっております。資料5番の両面刷りのものですが、こちらが実際に対象者、無作為抽出で2000名の方に送る鑑文となっております。表面がご依頼に関する文書で、裏面が回答方法ということで、インターネットから回答する方は、QRコードまたはこのURLからアクセスしていただいて、紙のアンケートも同封いたしますのでそちらで回答いただく方は、そのアンケート用紙を返信用封筒に入れて郵送していただきたいということが書かれています。こちら内容ですけれどもご確認済みかと思いますが、本日最終確認の場とさせていただきますので、この間メールで送ってご回答いただいた方、ご回答いただいて気づいた点であったり、誤字脱字等あればご指摘いただければと思いますので、最終確認という形で何かあればご指摘よろしく願いいたします。

(会長) はい、ありがとうございます。前回の会議で皆さんいろいろご意見を伺ったって

聞いていますけれども、それを踏まえてということで、前回から大きく変わったところっていうところはどこにありますか。

(事務局・管理係員) お出ししているところで問 30 番と 31 番ということで、オンラインに特化した設問というのがなかったのですけれども、そこを追加の方がよろしいのではないかとということで 30、31 を追加しています。もう一つオンラインを実際にやったかどうかというところに関しては前半部分でクロス集計として取れるような内容だったので、そこに関してはクロスから取って、この 30 番で意向と環境について確認をして 31 番でオンラインでできない理由というのを確認していくという形を取っております。大きく変えているのはそこぐらいです。

(会長) はい、ありがとうございます。やったことあるかどうかという事実じゃなくて、やりたいかどうかという意向を聞く質問を皆さんのご意見を踏まえて、足したと。で、せっかく聞いたのでやりたくないって人に対して、なんでやりたくないのか、ポジティブな理由なのかネガティブな理由なのかってことで、皆さんのご意見を踏まえて足していただいたということだそうです。ということで、今日これで完成という確認というふうにしたいということで、明らかに間違っているところがあれば、今日の段階でご指摘いただければ修正していただければと思うのですけれども、いかがでしょうか。

(事務局・管理係員) あと実際にこの月曜日にメールでお送りしてご回答いただけた方で、どのぐらい時間かかったかとか、その辺りもしくは LoGo フォームで表示されるのと紙の違いっていうのもあったと思うので、今回反映しきれなくても、資料として残していくのでそういったご感想、ご意見をいただければと助かります。

(会長) 実際に可能であれば回答者になったつもりで回答していただいて、所要時間とか、何かお気づきの点があれば出していただければ。質問項目自体はもうこれで完成ですけど、参考情報としてあればということでそうです。

(F 委員) せっかくいただいたのでやってみたのですが、すいません、私の理解があれなのかもしれないのですが、(10) のところに、どのような生涯学習しましたかって聞かれて、その下に (11) で、設問 (10) 中で何らかの学習活動をしたと答えの方にお聞きしますと書いてあって、生涯学習と学習活動、どういうふうに考えたらいいんだらうと思いつつながら答えていたのですが、だから、「生涯学習＝学習活動」となっていれば、これはこれでわかりやすいんですけど、生涯学習と学習活動、違うのかなと思いつつ始めてしまうと、この (12) とかも学習活動になっているので、(13) も学習活動ですね。ちょっと自分で答えていて、生涯学習のことだよねって自分は思いつつ書いてしまうのですが、区別しなくてはいけないのかと考えてしまつて。

(事務局・管理係員) 学習活動という言葉をやめて生涯学習にまとめた方がわかりやすいですね。

(F 委員) 何しろちゃんと (10) のところに生涯学習とはということで、「●●行う学習活動のことです」と書いてあるので、これが残っていてれば学習活動でも大丈夫です。

(E 委員) そうするとこの上の方にあなたの学習活動についてお聞きしますって大きく書

いてあって、ここで、学習活動という名前が出て、そして下に生涯学習という形でね。

(F 委員) 私も答えてみて生涯学習のことだよって、思っちゃえば全然引っかけられないんですけど。真面目な人は学習活動と生涯学習どう違うのって始まっちゃうかなってというのがちょっと気になりました。

(会長) ありがとうございます。実際にやってみたときに、確かに誤解を生じさせるような表現になっているような感じがしますね。結構それがずっと続くので、(15) なんかは、この 1 年間生涯学習したことない、ここは生涯学習になっているんですけど、他は学習活動って言葉になっていたりとか、ちょっと混在する感じがしますね。学習活動にするのか生涯学習にするのか、何らかちょっとすっきりさせる必要がある。

(E 委員) 全て学習活動っていうふうになると何かちょっと間口狭い感じがありますね。

(会長) これは事務局に引き取っていただいて。気づいていただいてありがとうございます。

(H 委員) やって見たのですけれども、(12) ~ (15) 質問されるときにパッパッと答えられるようなものがあると思うのですよ。その前にいっぱい 1 年ぐらい前に、1 年ぐらい前ぐらいになって出てるので、それをやめて、何のため生涯学習をしていますかというのとはいいのではないかと思うのです。今後学んでみたいと思うことは何ですかというのが (13) と (15) 同じことなのですが、やっている人とやってない人の違いを知りたいのか。文章一緒ですもんね。

(会長) 生涯学習をしたことがないっていう人はジャンプするけど、それ以外の人はジャンプしないのですよね。(11) (12) (13) っていうのは、全ての人に答えてもらう。ただ、生涯学習をしたことがないっていう人だけは、(14) に飛んでくださいと。丁寧に入れているのだけど、長さがちょっと煩わしいというか読みづらいとこですよね。何を聞かれているかっていうとこたどり着くちょっと時間がかかるということですね。

(H 委員) ここに飛んでくださいと言っても一応読んじゃいますよね。なるべく問題は少ない方がいいかなと。

(会長) 丁寧にするつもりで全部入っているのだと思うのですが、飛ぶ人はやってない人だけなのでね。これも引き取っていただいてもよろしいですか。

(H 委員) 何か他のところもそのままの言葉で、でも私もこれは自分のなくちゃいけないと思ったからゆっくり読んだのですが、あんまりね、斜めに読んじゃいますよね。最後の方とか嫌になっちゃいますよね。途中で答える気がなくなっちゃうものもあるかもしれない

(会長) 自分のことから初めて、最後は市全体のことを聞くって流れは確かですけど、文字数は多くなりますね。要は、項目じゃなくて質問文の方にやや課題があるのではないかっていう両方の御指摘だったと思うので、最後まで答えやすいように検討をしていただければと思います。

(H 委員) それと、マークですけど点線がよく見えません。

(事務局・管理係員) 今は安い用紙を使わせてもらっているのですが、もう少し白が

強めのものに変えて、いい紙でお送りするのでもう少しだけ強く黒が出ると思います。ただこれを作成しているソフトがあまり裁量がないというか融通が利かないというか、フォントも変えられず、もう形式的にパッと出てきてしまうものなので、濃くするとかっていうのが難しいです。

(会長) システムがもうこうなってなっちゃっているということですね。確かにもうちょっと厚くていい紙だと強くて見やすいかもしれません。根本的なところでありがたいご意見です。ありがとうございます。他はいかがですか。

(B委員) ここまで出来上がってからで大変恐縮ですけれども、前回の指摘した国語の問題がなくなったので、グレードアップしていますが、QRコードでLoGoフォームを開いて、進めると問10でバグってしまいます。問10はラジオボタンではなくて、複数のチェックができるようになっちゃう。どのような活動をしましたかの間に、「しました」、「しました」、「しました」、で選択しても最後の「したことがない」も全部チェックができるのです。これどうやって解決したらいいかなと思って、さっきH委員のお話を聞きながら思っていたのですが。問10で、1年ぐらいの間に学習生涯学習をしましたか、「はい」「いいえ」で区切らないとこのバグ消えないと思います。だからちょっとこの状態にもう出来上がっちゃって設問を増やすなんて、酷な話で申し訳ないのですが、このLoGoフォーム自体が危険だっているのが、矛盾した回答ができちゃうことになってしまいます。

(事務局・管理係員) おっしゃる通りでして、本来は逆説的なのとか、逆のご意見は選択できないような形を取ればよかったですけれども、このLoGoフォームの仕様でして、複数選択の中での制限というのができなかったというのがあります。

(B委員) そうなんですよね、なのでここは問10を二つに分けなきゃいけないと思います。「しましたか・していませんか」の2択で「しました」の方は、問10の趣味的なものから、学校のものとはどれですかというものを問11で初めて開くぐらいしておかないと、全部出ちゃうなっていうのに、気づきましたので、もう直しようがないかもしれません。

(会長) それは次期にさせていただいて、ちょっとこの時点では間に合わないかなという気がします。表現を少し直すくらいならまだ間に合うと思います。これはこういう形式で生涯学習系の調査をやったりするので、おっしゃることはそうなのですが、割とこの形式でやっているなっていう実感はあります。ありがとうございます。聞けば聞くほど出てきますが、ある程度完成度が高まっているところです。この間、大田区の生涯学習の会議に出てきて、こういう調査をやったという報告を受けたのですが、生涯学習している人が減ったって聞いたのです。普通この手の調査では横ばいか、ちょっと増えたりするものなんですけど、がくっと減ったらしくて、なんでかわからないねって話をしました。それが立川市でも同じような傾向で出るのか、ただ太田区でやったときの調査が、立川ではちゃんと記載されていますが、2ページにあるように生涯学習とはどういうものかという説明を入れることによってその人の考え方を規定しちゃうので、入れないって考え方もあって、例示しないという考え方もあります。でも例示しないと、私がやっていることは生涯学習じゃないかもしれないって思う人も多いうたというのがあ

て、なかなか難しいとこだったりするのですが、大田区はこれを外して実施したみたいで、次回からやっぱり例示を入れようってことになったみたいです。実際に生涯学習する人が忙しくなって減ってきているのか、たまたま例示がなかったから減ったのかわからない。なので、立川市の調査結果がどのように出るかというのは楽しみです。コロナが挟まっているので、それによって学習意欲が高まっているのか、それどころじゃなくなっているのか、この調査は国でも都道府県でも、市区町村でもやっていますけど、コロナって未曾有の事態が生涯学習に影響与えているのかなというところには関心を持ちたいと思います。いくつか意見はいただいたので実際の評価の実施に向けて可能な範囲でご検討いただければと思います。ご意見ありがとうございました。

## 5. その他

(1) 教育委員（公募枠）の選考委員の就任について

(会長) 事務局よりご説明をお願いします

(事務局・センター長) 教育委員の公募枠でございますが、立川市は全国的にも珍しく、保護者委員と公募委員ってことで二人の方ですね。委員募集をしております。

(会長) 教育委員は5人ですか。

(事務局・センター長) 実際の教育委員は、教育長は法改正で変わりましたので、教育委員では今ないので、教育委員は4人です。

(会長) 4人のうち2人が公募ですので、かなりの割合になりますね。

(事務局・センター長) 昨年度も実は副会長に保護者委員の選考をお願いしたところがございます。大変恐縮ではございますが、公募委員の選考を副会長にお願いしたいというものでございます。実は清水市長の肝いりでして、実はその前からもあったのですが、2人の募集になりまして、これから市長選がありますが、基本的にはこの路線が続くものということで判断してございますが、一旦選考でいく場合に、副会長に引き受けていただくこととさせていただきます。他にまだPTAの小中の会長さんとか副市長が、選考委員になってございますけども、その一員にということで、ぜひお願いしたいというものでございます。

(会長) ありがとうございます。副会長には内諾いただいているということですね。

(事務局・センター長) はい。

(会長) 生涯審の委員から教育委員の選考委員を出すと規定されているというのも結構大事な位置づけかなって思います。教育が学校教育だけじゃなくて、社会教育、生涯学習も含むから、教育委員さんを選ぶ委員さんをちゃんと生涯審から出そうというふうに、立川市はなっています。公募委員が多いうということもそうですけど、そういう意味では、社会教育や生涯学習を位置づけられているということかと思えます。これも立川市の特徴かなと思います。それでは、副会長よろしく申し上げます。

(副会長) 割と委員の中でいいなと思う方は意見があっちゃうのですね、何か不思議なもんだなと思うのですが。

(会長) いろんな立場の人が来ていても、この人がいいなっていうのは同じだということ

はありますね。

## (2) 令和5年度第2回立川市議会定例会報告

(会長) 定例会の報告についてお願いします。

(事務局・センター長) 第2回の市議会の定例会報告でございます。資料に基づきまして説明いたします。議会日程でございますが、会期は6月6日から6月26日までの期間でございます。詳細はページ番号が書いてございませんが、3ページの次にある令和5年(2023年)第2回市議会定例会会議日程表ということでございます。本会議並びに特別委員会、常任委員会、その後を本会議という形で開催する議会でございます。一般質問は4日間ございまして24人の議員から質問等がございまして、この日程表の後にある一般質問順序表に書いてある通りの項目でございます。内容は割愛させていただきますが、24人の議員さんのうち15の方が教育に関する質問をされてございます。瀬議員以降、原ゆき議員までの15の方が質問されてございますが、さらに生涯学習の関することございまして、受理番号2番の瀬議員から学習館の貸出備品について、3つ飛びまして7番のわたなべ忠司議員。立川の無形文化財、地域文化財についてということです。さらに、ページめくりまして2ページの一番下の山本洋輔議員の下から2番目、インターネット通信環境について質問をいただきました。若干触れますと、瀬議員の質問は学習館の貸出備品のピアノのことについて、ご質問をいただきました。ピアノが老朽化してございまして、高松学習館のアップライトとグランドピアノがだいぶ状態が悪いくことで、そのことについてご質問をいただきました。もう一つは、柴崎学習館のプロジェクターということで、映画会などをやっていますので、このプロジェクターがちゃんと正常に動くのかどうかというご心配いただきまして、そういったご質問をいただいたところでございます。わたなべ忠司議員からは、地域無形文化財の考え方ということであくまで考え方って事でございますのでご説明は省略させていただきます。山本洋輔議員のインターネット通信環境ということでWi-Fiの考え方の中に、実は柴崎学習館の利用者の方から、少し苦情みたいな形でいただいて、本来ですとWi-Fiは繋ぐためにパスワードを、お話いただいたらすぐパスワードをお出しする運用になっているのですが、窓口の担当者が、すぐお出ししなかったということがありました。ちょっとあまりいい窓口対応ではなくてそのことをご指摘いただきましたので、その掲示の徹底としっかり対応を均一にするようにというご指摘をいただいたものでございます。その3点が生涯学習に関することの質問でございました。次が文教委員会でございます。一番最後のページでございますけども6月20日にございまして、この記載の通り小学校の給食費の無償化を求める陳情から各課からの報告ということで、私ども生涯学習推進センターからは砂川学習館地域コミュニティ機能複合施設の整備についてと西砂学習館中規模改修工事、滝上会館中規模改修工事、これ全て今年度改修工事を行っているものでございます。それらの報告をさせていただきました。その他議員さんから事務局に質問する内容で、瀬委員からTOKYO GLOBAL GATEWAYについて、中山ひとみ議員から部活動の地域移行についての質問がございました。

文教委員会は以上でございます。その他議案審議ということで、補正予算、あるいは条例改正、特に条例改正につきましては、中学校給食が、ちょうどこの2学期から始まりました。今まで立川市は中学校給食が直接的にはございませんでした。ご自宅から持ってくるお弁当か、もしくはいわゆる仕出し弁当的なものです。発注を前もってしてもらって、子供たちが機械で申し込んで、運んでもらうというやり方ですけど、今回からは全ての中学校給食は配達されるようになって、そういう調理場の整備をする条例でございます。その条例改正ということでございます。9月4日で、学校9校全て中学校給食が配送されていますけども、ようやく提供できるということになりました。あわせて6月26日に1億5000万を超える金額は契約議案ということで、議会にお諮りすることになってございまして、この3つの議案が契約議案として提出して可決ということになってございます。6月議会の報告は以上でございます。

(会長) ありがとうございます。何かご質問等ございますでしょうか。話が少しそれちゃうかもしれないのですが、さっきの学習館のWi-Fi、錦学習館でプレ錦まつりの準備が始まっているんですけど、オンラインがあるっていうふうになるといろいろ使えるなということで、少し始めていて、今までは職員さんや地運協の委員さんに大学に来ていただいて、あるいは、学生に行って意見交換をしていたのですが、何度もそれをやると大変なので、今年度は学習館の職員さんに実際に大学に来ていただいて、学生に説明をして、学生が立てた企画にコメントをいただきました。その時はオンラインにつないで教室で画面をつないで、学生が企画を紹介して、職員さんがアドバイスをしてスムーズに行うことができました。それと学習館にパソコンとスピーカーとZOOMも設定できるということで一気に進んだと感じました。錦学習館は夜に地運協の会議があるんですけど、学生は授業で間に合わないんですけど、オンラインなら大学から参加できるということで便利だねということで少しずつ利用させてもらっています。課題もあると思うのですが、それぞれみなさんのところでも試していただいて、それを共有させていただいて、いろいろな活用の在り方が見つけられたらと思います。

(B委員) 高松学習館の地運協でも学識の先生がお怪我されて、ここ2回くらいZOOMをやるようになりまして、設置されているカメラだと誰が話しているかわかりづらいねということで、自治連の栄町支部でAIカメラを持ってまして、それを使ったら、すごくよかったということでした。1個15万円くらいするカメラなので厳しいとは思いますが、検討されるといいのかなと思いました。さっきのWi-Fiの件ですけども質問出るかなと思っていたんですけど、学習館はよいですけども学習等供用施設の方ですね、先ほどの表にも2館設置しましたって書いてあって、これからまた増えていく方向でしょうか。

(事務局・センター長) 今回2館先行っていうのは前もお伝えしたと思うんですけどちょうど立川には崖線があって、多摩川、残堀川が溢れたときに避難所の機能としての今回2館先行ということで、今回先行投資ということになりました。ただ今後は、11館には入れるために予算要求していきたいなと思っています。

(B委員) 方向性が確認できれば少し安心です。

(事務局・センター長) ただ2館先行ってそういう意味ですので今後広がっていくと思うのですが、そのペースをどうしていくかっていうことを考えているのですが、できるのであれば一気にやりたいなというのが担当課の考えです。

(B委員) ありがとうございます。関連して、二つ報告がありまして、高松学習館の御礼ですけれども空調設備のプッシュと雨漏り修繕ありがとうございました。あと市民リーダーの会と自治連栄町支部で東京都の底力助成金っていうのがありまして、そちらの方を活用して、仮称ですけれども出張市民リーダーフェアを7月のアイム1階で行われた形を、さかえ会館でもやってもらおうという企画です。地域と市民リーダーをコラボレーションということで、今まであまりそういうことがないそうで。

(H委員) 初です。

(B委員) なので、ちょうどいい機会ですのでチャレンジを12月2日に行う予定です。

(会長) ありがとうございます。その他何かございますでしょうか。

(副会長) 柴崎学習館で、各学習館でWi-Fiを使った講座、つまり、リモート講座をやるっていうようなお話が進んでいるということをお聞きしましたけども、全学習館でそういうふうに動いているのでしょうか。

(事務局・管理係長) 器材を大変苦勞して入れたもので、離れていても参加できれば、出席できたのにみたいなどころをすくっていくためにできるだけそういった講座をやっていきましょうということで、各学習館に呼びかけてはいるのですが、やはり人員の関係ですとか機材をどのように扱うかの熟練度合いですとか、ある程度テストとかもしながら進めていかないと、やったところで大失敗で繋がらなかったというところもよくないので、できる館からという形になっています。なので、全部で一気に始めるということでは、ないのですけれども、せっかくいいものを入れてもらったのに使わないとということ、今年度もいくつかの検討をしてもらっているはずですよ。

(副会長) 広がってほしいということですね。

(会長) ちょっと前まではインターネットに繋げるのも大変で、パソコンとか学習会館に1台があるって聞いてびっくりして、スピーカーフォンも大きい良いやつで、まだ学習館職員さんが使っていないから、何と何を繋げればいいのかわかんないのですよ。だから使わないと宝の持ち腐れで、皆さんもぜひいろんな立場で、使うっていうことをよく働きかけてみたらいいと思います。

(B委員) 幸学習館さんでも確かテストされたのですよね。

(I委員) 1回ですけどありました。

(B委員) なかなかうまくいったっていう話みたいですね。

(会長) 今後は講座も少しは扱っていくってことですね。ありがとうございます。その他何かございますでしょうか？

(事務局・管理係員) 正式に通知が来ているわけではないのですが、今年度のブロック研修会が昭島市で行われる予定がありまして、日程が決まってお知らせが来たのでご報告だけ、口頭で申し訳ないのですが、10月21日の土曜日、午後1時から午後4時までアキシマエンススでということ、テーマについてはまだ未

定で、内容は講演とワークショップを予定しているということなので、また通知というか募集案内みたいなのは、おそらく9月に入って以降に来るかなと思いますので、もしご興味がありましたら、スケジュール確保していただければと思いますので、よろしく願いいたします。

(会長) ありがとうございます。この会議自体が次、10月18日を予定していて、その直後になるので、出欠確認は多分この会議より前に皆さん方に行くことになるかと思えます。立川市が担当だったときの大変だった記憶はまだホットだと思えますけれども、昭島市さんもみんな頑張って企画準備されていると思えますので、今度は私達が参加する側で応援するという事でお隣の市ですから近いので、10月21日の午後、アキシマエンス、新しい施設になりますので、ぜひご参加いただければと思います。その他何かございますでしょうか。

(D委員) お手元に「とうきょうの地域教育」というものが配られているかと思えます。私が所属している東京都教育庁生涯学習課で年に3回ほど発行しているものになります。今回は高校生の社会人基礎力向上事業ということでNPOの方々と一緒に、社会人になっていくための事業をやっているものを出させていただきました。今後もこのようなものが出たときはご覧いただければと思います。地域学校協働活動と言って子供たちの学習支援とか放課後子ども教室とか、コミュニティスクールみたいなお話が出ているかと思えますが、このあたりの一体的な推進をどうやって進めていくかということも記事にしていきたいと思えますので、その都度ご紹介させていただき、お読みいただければと思います。

(会長) ありがとうございます。その他報告ご発言等ございますでしょうか。

(B委員) この間、センター長がラジオにご出演なされたということでYouTubeに上がっておられました。

(事務局・センター長) わずかでございますけど、FMたちかわのYouTube番組がございまして、私は当然取材を受けるだけで、事前の調整だけだと思ったらもうこのまま撮りましょうということで、カメラを向けられまして、本当に少しの時間ですよ。

(H委員) カメラマンがついてくるとは夢にも思いませんでした。次回も出ていただけるということですよ。

(事務局・センター長) 出ていいものかわかりませんが。

(会長) 積極的な広報活動を素晴らしいと思えます。ありがとうございます。私の方からも7月から社会教育実習生を生涯学習推進センターで引き受けいただいております。今年は2名です。1人はもう始まっているのですが、もしかしたら学生と出会うことがあるかもしれませんので、温かい目でご指導いただければと思いますのでよろしく願いいたします。その他何かございますでしょうか。

(事務局・センター長) 次回の議題についてでございます。大きな議題としては評価の部会を1回目開いていただいて、そのフィードバックということで、この会議にかける予定ですけど、次期の計画に向けてフリートーキングの時間を設けていただければと思います。大きな視点で、立川市の計画に何か考えていただくヒントにさせていただくような議論を、ぜひしていただきたいので、皆さん持ち寄っていた

だけるとありがたいです。例えば若者に向けた発信であるとか、高齢者に向けたアプローチをどうするかですとか、オンラインの関係をどうするかとかですね。例えばの話でございますけど、そういった議論が自由にできることは中々なかったと思うのですけども、時間がどれだけ取れるかわかりませんが、提案でございます。考えていただければありがたいです。

(会長) ありがとうございます。今の計画のいろいろ枠組みというのがあるのですが、そこから一旦離れてフリーでということですので、皆さんの今のご活動とかを経験をもとに、これからの立川市の生涯学習にこういうのが必要なんじゃないかとか、ここが足りないのではないかとか、そういうことがあればちょっと出させていただきたいということですね。第5次から第6次の計画のときに、立川市民科ももうちょっといろいろな形で取り組んでいこうということで新たに付け加えたりだとか、学校と地域の連携ということで学社一体のことをもうちょっと計画に位置づけていくべきじゃないかという意見交換の中から、新たにつけ足していったっていう経緯がありますので、やっぱり継続すべきところと、時代に応じて新たに入れる観点とっていうところで言うと、ここがまず種を蒔くところになるかと思います。個人的な観点でも、あるいは地域に特化したものでも構いませんので、まずは持ち込んでいただくということです。

次回はちょっと間が空きまして9月はなくて10月18日の水曜日、18時30分から、ここアイムの第2学習室で行います。これより前に9月15日締切で、評価シートへのコメントをお願いしているという状況です。また適宜事務局からメール連絡等行くと思いますけれども、ご対応いただきますようによろしくお願いします。それでは、本日の会議はこれで終了としたいと思います。ありがとうございます。